

令和元年度事業報告

定款第 39 条(事業報告及び決算)に基づき、
本会の令和元年度の事業の報告を行うものである。

1. 会員現況
2. 組織及び業務の分担概要
3. 会議等の概要
 - (1) 総会、(2) 理事会、(3) 顧問・評議員会、(4) 各種委員会
4. 運営・広報事業の概要
5. 国際関係事業の概要
6. 催物事業の概要
7. 調査研究事業の概要

令和元年度事業報告

令和元年度は会員のニーズを踏まえるとともに、トンネル技術者にとって必要と考えられる各種事業を展開した。

運営・広報事業では、本会の今後の活動の指針となるビジョン（JTAビジョン）を策定するとともに、ビジョンに掲げている目標等を達成するための仕組みについて検討した。また、会員からの様々な要望に応えるよう本会ホームページの充実や委員会活動成果を含めた図書を広く頒布した。

国際関係事業では、ITAの加盟国代表機関として関係諸国との技術交流に努めるとともに、国際会議の場で日本の技術力を世界に発信した。また、海外の文献・技術情報の収集・広報を行った。

催物事業においては、会員の資質向上を図るための講演会、研究発表会、トンネル現場研修会（見学会）等を積極的に開催した。

調査研究事業では、技術委員会の下で、トンネルや地下空間の建設および維持管理に関する当面の課題や会員からのニーズに積極的に応えた。受託業務においては、学識経験者からなる委員会において審議を重ね、委託者の期待に応える成果を挙げた。

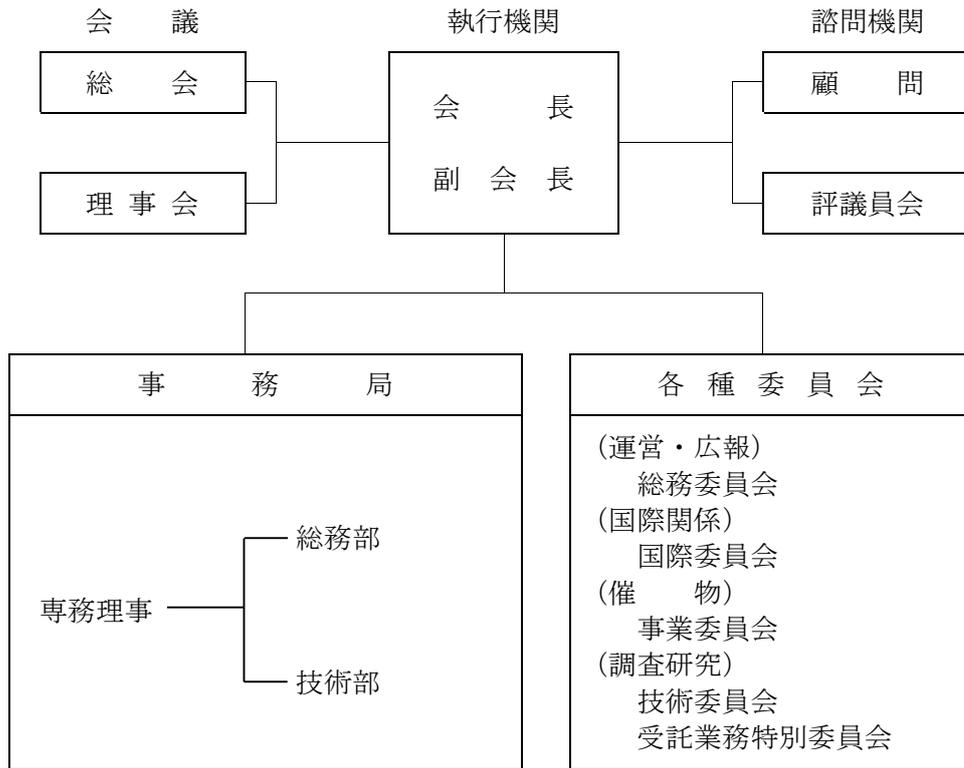
1. 会員現況

1975年（昭和50年）以降2020年（令和2年）3月までの会員現況は、次のとおりである。

会員種別	1975.3 (名)	1985.3 (名)	1995.3 (名)	2005.3 (名)	2015.3 (名)	2019.3 (名)	増 (名)	減 (名)	2020.3 (名)
正会員	160	2,098	1,901	2,054	1,286	1,254	48	▲ 66	1,236
団体会員	160	228	282	359	202	205	3	▲ 5	203
特級	—	3	3	3	1	1	0	0	1
特A級	—	—	28	24	23	23	0	0	23
A級	33	34	9	12	5	5	0	0	5
B級	14	16	20	16	10	10	0	0	10
C級	31	30	30	21	15	15	0	0	15
D級	82	145	192	283	148	151	3	▲ 5	149
個人会員	—	1,870	1,619	1,695	1,084	1,049	45	▲ 61	1,033
一般会員	—	—	—	—	866	827	43	▲ 57	813
推薦会員	—	—	—	—	206	208	2	▲ 4	206
特別会員	—	—	—	—	12	7	0	0	7
名誉会員	—	—	—	—	0	7	0	0	7
賛助会員	—	—	—	—	169	227	42	▲ 64	205
計	160	2,098	1,901	2,054	1,455	1,481	90	▲ 130	1,441

※1986年 特A級会員を設置、2007年 作業所単位会員を設置、2013年 作業所単位会員を廃止・賛助会員を設置

2. 組織及び業務の分担概要



(1) 会 議

- 1) 総会を6月に開催し、協会の運営上重要な事項を、また、理事会を5回開催し、会務の執行に関する事項を審議した。理事、監事の名簿は別表のとおりである。

(4頁参照)

(2) 執行機関

- 1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐した。
- 2) 事務局では、専務理事が常勤し、会長及び副会長を補佐して会務を処理した。
- 3) 各種委員会については、4つの常設委員会の他、受託(請負等)業務に応じて7の特別委員会・検討会を設け、別表のとおり各委員会を開催して会務を分担した。

(6～10頁参照)

(3) 諮問機関

- 1) 顧問・評議員会を5月と11月に開催し、会長の諮問に応じた。顧問・評議員の名簿は別表のとおりである。

(5頁参照)

一般社団法人日本トンネル技術協会

理事・監事名簿

令和2年3月現在

No.	区分	氏名	所属	役職
1	会長	谷口 博昭	(一財)建設業技術者センター	理事長
2	副会長	小島 滋	(独)鉄道・運輸機構	副理事長
3	副会長	宮本 洋一	(一社)日本建設業連合会	副会長、土木本部長
4	専務理事	時政 宏	(一社)日本トンネル技術協会	専務理事
5	理事	藤井 元生	中日本高速道路(株)	取締役常務執行役員
6	理事	村尾 光弘	西日本高速道路(株)	取締役常務執行役員
7	理事	土橋 浩	首都高速道路(株)	執行役員
8	理事	高瀬 昭雄	(独)鉄道・運輸機構	理事 ※【本会総務委員長】
9	理事	大石 敬司	東京地下鉄(株)	鉄道本部改良建設部長
10	理事	谷本 俊哉	東京都交通局	建設工務部長
11	理事	高田 悦久	鹿島建設(株)	専務執行役員
12	理事	河田 孝志	清水建設(株)	常務執行役員
13	理事	高嶋 正彦	(株)熊谷組	執行役員副社長
14	理事	見喜 一朗	(株)鴻池組	常務執行役員
15	理事	森山 越郎	東洋建設(株)	代表取締役執行役員副社長
16	理事	山田 裕之	戸田建設(株)	常務執行役員
17	理事	山本 喜裕	日本国土開発(株)	専務執行役員
18	理事	吉川 大三	(株)安藤・間	顧問
19	理事	中西 隆夫	前田建設工業(株)	取締役常務執行役員
20	理事	森 理太郎	三井住友建設(株)	常務執行役員
1	監事	遠藤 元一	東日本高速道路(株)	特別参与
2	監事	久保田政宏	(株)竹中土木	執行役員副社長
3	監事	菊地 眞	鉄建建設(株)	専務執行役員

顧問・評議員名簿

令和2年3月現在

No.	区分	氏名	所属	役職
1	顧問	萩原 浩	(一社)日本トンネル技術協会	顧問
2	顧問	小森 博	(一社)海外鉄道技術協力協会	顧問
3	顧問	佐藤 信彦	(一社)日本トンネル技術協会	顧問
1	評議員	福井 勝則	東京大学	大学院教授
2	評議員	日野 浩二	(独)水資源機構	ダム事業部長
3	評議員	金崎 智樹	本州四国連絡高速道路(株)	取締役常務執行役員
4	評議員	関本 宏	阪神高速道路(株)	取締役常務執行役員
5	評議員	今井 政人 (大西 精治)	東日本旅客鉄道(株)	執行役員建設工事部長
6	評議員	佐藤 俊哉	電源開発(株)	執行役員土木建築部長
7	評議員	佐々木 健	東京都下水道局	計画調整部長
8	評議員	佐藤 健人	(株)大林組	代表取締役副社長執行役員
9	評議員	谷山 二郎	大成建設(株)	常務執行役員
10	評議員	飯田 廣臣	(株)奥村組	専務執行役員
11	評議員	上総 周平	五洋建設(株)	執行役員副社長
12	評議員	宮本 雅文	佐藤工業(株)	代表取締役社長
13	評議員	永友 久信	東亜建設工業(株)	土木事業本部理事
14	評議員	森藤 眞治	東急建設(株)	常務執行役員
15	評議員	伊藤 淳	飛島建設(株)	取締役執行役員副社長
16	評議員	萩原 達也	西松建設(株)	執行役員
17	評議員	岡野利喜造	(株)フジタ	取締役常務執行役員
18	評議員	山崎 政俊	(株)不動テトラ	常務執行役員
19	評議員	伊勢田 敏 (木村 昌司)	(一社)日本建設業連合会	常務執行役
20	評議員	真下 英人	(一社)日本建設機械施工協会	業務執行理事
21	評議員	元木 洋	青木あすなろ建設(株)	顧問
22	評議員	井上 基宏	(株)大本組	取締役常務執行役員
23	評議員	鈴木 明	(株)銭高組	執行役員
24	評議員	今井 和美	大豊建設(株)	取締役常務執行役員
25	評議員	牧原 久利	若築建設(株)	執行役員
26	評議員	西海 健二	日本製鉄(株)	建材開発技術部長
27	評議員	井上 年史	JIMテクノロジー(株)	代表取締役副社長
28	評議員	入江 健二	メトロ開発(株)	代表取締役社長 ※【本会事業委員長】
29	評議員	西村 和夫	首都大学東京	理事 ※【本会技術委員長】
30	評議員	中村 武夫	中日本高速道路(株)	執行役員 ※【本会国際委員長】

注) 氏名欄の () 内は、年度途中の交替者 (前任者) を示す。

令和元年度各種委員会の構成

注) ◎幹事長兼任 ○幹事兼任 () 前任者

1. 総務委員会(15)

委員長	高瀬 昭雄
副委員長	高田 悦久
委員	岡村 次郎
〃	杉野 浩茂
〃	水口 和之
〃	土橋 浩
〃	今井 政人
〃	大石 敬司
〃	谷本 俊哉
〃	佐藤 健人
〃	高嶋 正彦
〃	谷山 二郎
〃	河田 孝志
〃	久保田政宏
〃	菊地 眞

〃	澤 徹
〃	久多羅木吉治
〃	松原 利之
〃	森 正彦

〃	河田 皓介
〃	保利 彰宏
〃	(白井 孝典)
〃	檜館 学
〃	小松原 涉
〃	(林 稔)
〃	江口 康則

1.2.2 ホームページWG

2. 国際委員会(7)

委員長	中村 武夫
委員	福本 勝司
〃	砂金 伸治
〃	福島 広志
〃	福井 勝則
〃	(磯谷 篤実)
〃	清水 健志
〃	石田 積

2.1.1 英文ホームページ改訂WG(7)

主査	砂金 伸治
幹事	(菊地 浩貴)
〃	佐々木 亨
〃	若林 功起
〃	アトサムアズマン
〃	岸田 展明
〃	小松原 涉
〃	河田 皓介

1.1 企画運営幹事会(9)

幹事長	水口 和之
副幹事長	吉富 幸雄
幹事	清水 健志
〃	大津 敏郎
〃	本田 諭
〃	(小西 英生)
〃	伊藤 聡
〃	西岡 和則
〃	川崎 哲人
〃	内藤 将史
〃	(請川 誠)

2.1 ITA小委員会(25)

委員長	砂金 伸治
顧問	福本 勝司
〃	石田 積
幹事	杉本 光隆
〃	岸田 潔
〃	日下 敦
〃	小出 孝明
〃	吉川 直孝
〃	真下 英人
〃	(下田哲史)
〃	山崎 哲也
〃	(赤澤 正彦)
〃	渡辺 和之
〃	(今倉 和彦)
〃	山下 健司
〃	北村 義宜
〃	小野 知義
〃	大塚 勇
〃	辻川 泰人
〃	満尾 淳
〃	淡路 動太
〃	アトサムアズマン
〃	(中谷 武彦)
〃	新宮 康之

2.2 海外情報小委員会(6)

委員長	福井 勝則
委員	日下 敦
〃	堀口 陽子
〃	新井 泰
〃	秋好 賢治
〃	横尾 敦

1.2 広報小委員会

1.2.1 会誌WG(13)

主査	山田 隆昭
幹事	吉岡 大蔵
〃	福山 恵夫
〃	中野 清人
〃	坂田 聡
〃	中間 祥二
〃	西岡 和則
〃	金岡 幹
〃	吉富 幸雄

2.2.1 文献WG(22)

主査	福井 勝則
幹事	日下 敦
〃	萩原 秀樹
〃	石原 陽介
〃	新井 泰
〃	堀口 陽子
〃	岡 滋晃
〃	新 孝一
〃	仲山 貴司
〃	今倉 和彦
〃	今泉 和俊
〃	藤原 浩一
〃	尾畑 洋
〃	河上 清和

// 瀬谷 正巳
 // 谷 卓也
 // 畑生 浩司
 // 満尾 淳
 // 中山 卓人
 // 米田 新
 // 野間 達也
 // 久慈 雅栄

2.2.2 ニュース WG(9)

主査 清水 健志
 幹事 八鳥 雄介
 // 日向 美郷
 // 横畑 友幹
 // (法橋 亮)
 // 辻川 泰人
 // 稲田 匠吾
 // 篠原 慶二
 // 山下 高俊
 // 笹田 俊之

2.2.3 対外広報 WG(12)

主査 清水 健志
 幹事 福島 広志
 // 吉井 洋紀
 // 日下 敦
 // (今井 寛樹)
 // 石川 大輔
 // 清水 雅之
 // (寺島 善宏)
 // 内海 和仁
 // 本田 諭
 // 秋好 賢治
 // 北村 義宜
 // (青木 宏一)
 // 尾畑 洋
 // (植村 義幸)
 // 西村 知晃

3.事業委員会(19)

委員長 入江 健二
 委員 吉岡 大蔵
 // (伊藤 哲男)
 // 中野 清人
 // 鈴木 恒男

// 嶋田 司
 // 山下 賢司
 // 川上 直之
 // 西浦 秀明
 // 橘高 豊明
 // 西岡 和則
 // 河越 勝
 // 金岡 幹
 // (高市 一馬)
 // 友野 雄士
 // 宇田 誠
 // 久多羅木吉治
 // 内藤 将史
 // 築地 功
 // 鈴木 雅行
 // 森田 篤

4.技術委員会(17)

委員長 西村 和夫
 委員 杉本 光隆
 // 日下 敦
 // 市場 一好
 // 佐原 圭介
 // 八木 弘
 // 中野 清人
 // 今井 政人
 // 永田 憲二
 // 川上 直之
 // 中間 祥二
 // 中村 誠喜
 // 西岡 和則
 // 手塚 仁
 // 安藤 拓
 // (高市 一馬)
 // 友野 雄士
 // 内藤 将史

4.1 共通技術小委員会(15)

委員長 市場 一好
 委員 長田 英和
 // 日下 敦
 // 中野 清人
 // 松永 卓也
 // 廣元 勝志
 // 染次 治仁

// 川上 直之
 // 吉本 正浩
 // 金岡 幹
 // 築地 功
 // 大谷 達彦
 // 鈴木 雅行
 // 篠原 慶二
 幹事 澤田 和也

4.1.1 資機材検索リスト運営 WG(6)

主査 松永 卓也
 副主査 永田 憲二
 委員 鈴木 正憲
 // 中田 晴久
 // 越田 健
 // 篠原 慶二

4.2 山岳工法小委員会(21)

委員長 佐原 圭介
 委員 木谷日出男
 // 日下 敦
 // 伊藤 哲男
 // 海瀬 忍
 // 水野光一朗
 // 森岡 宏之
 // 野城 一栄
 // 鈴木 雅行
 // 中間 祥二
 // 橘高 豊明
 // 青柳 隆浩
 // 手塚 仁
 // 谷川 隆之
 // 石井 三郎
 // (高市 一馬)
 // 友野 雄士
 // 築地 功
 // 大谷 達彦
 // 末松 幸人
 // 森田 篤
 // 鷹嘴 智司

4.2.1 支保 WG(26)

主査 佐原 圭介
 委員 佐々木 亨

// 森岡 宏之
 // 浜田 元
 // 伊藤 哲
 // 河村 巧
 // 横尾 敦
 // 青木 宏一
 // 富澤 直樹
 // 大森 禎敏
 // 谷川 隆之
 // 石井 三郎
 // 中塚 静夫
 // 川島 義和
 // 満尾 淳
 // 山村 浩介
 // 内藤 将史
 // 熊谷 幸樹
 // (岡井 崇彦)
 // 鈴木 健
 // 山仲 徹
 // 稲葉 秀雄
 // 野間 達也
 // 水谷 和彦
 // 鎌田 修司
 // 國村 省吾
 // 入内島克明

4.2.2 地山評価WG(17)

主査 木谷日出男
 委員 前川 和彦
 // 川越 健
 // 田中 姿郎
 // 中谷 匡志
 // 奥澤 康一
 // 片山 政弘
 // 高馬 崇
 // 淡路 動太
 // 小山 俊滉
 // 山下 雅之
 // 永井 誠二
 // 小熊 登
 // 武藤 直樹
 幹事 上野 光
 // 宮嶋 保幸
 // 石濱 茂崇

4.2.3 防・排水工WG(13)

主査 伊藤 哲男
 委員 巽 義和
 // 若林 功起
 // 鈴木 雅行
 // (西浦 秀明)
 // 斎藤 有佐
 // 手塚 康成
 // (福嶋 幸治)
 // 上岡 真也
 // (小仲井一朗)
 // 小原 伸高
 // 辻川 泰人
 // 塚本 祐司
 // 渡部 直人
 // 四谷 敦
 幹事 村田 雄輝

4.3 都市トンネル小委員会(19)

委員長 川上 直之
 委員 佐原 圭介
 // 大塚 努
 // 本田 諭
 // 林田 岳士
 // 三谷 英司
 // 岡 滋晃
 // 守屋 洋一
 // 福居 雅也
 // 中川 雅由
 // 河越 勝
 // 赤津 基博
 // 中村 隆良
 // 高村勝之進
 // 久多羅木吉治
 // 稻田 義和
 // 安光 立也
 // 片岡希誉司
 // 五十嵐英史

4.4 安全環境委員会(19)

委員長 中野 清人
 委員 長田 英和
 // 森本 智
 // 大村 倫久

// 長谷川正明
 // 吉川 直孝
 // 前川 和彦
 // 沼上 寿
 // 斉藤 仁
 // 嶋本 敬介
 // 土屋 良直
 // 谷川 隆之
 // 三原 泰司
 // 浅野健一郎
 // 岡山 孝
 // 山田 秀雄
 // 高森 清士
 // 藤多 真也
 // 安光 立也

4.5 保守管理小委員会(16)

委員長 今井 政人
 幹事長 下山 貴史
 委員 長田 英和
 // 日下 敦
 // 大津 敏郎
 // 白鳥 明
 // 沼田 敦
 // 玉松潤一郎
 // 染次 治仁
 // 伊藤 忠司
 // 森岡 宏之
 // 野城 一栄
 // 福井 正規
 // 北川 真也
 // 川端 康夫
 幹事 小瀬 喜巳

5. 北海道新幹線、新函館北
斗・札幌間トンネル施工技術
委員会(51)

委員長 三上 隆
副委員長 小山 幸則
委員 大島 洋志
" 朝倉 俊弘
" 東畑 郁生
" 川村 信人
" 五十嵐敏文
" 藤井 義明
" 岸田 潔
" 太田 岳洋
" 倉橋 稔幸
" 大津 直
" 北川 修三
" 小西 真治
" 岡野 法之
" 野城 一栄
" 島村 昭志
オブザーバー 島多 昭典
" 保田 尚俊
協力者 服部 修一
" 深沢 成年
" 蓼沼 慶正
" 小野 顕司
" 岡田 良平
" 村上 明
" 高氏 昇
" 玉井 真一
" 佐原 圭介
" 磯谷 篤実
" 依田 淳一
" 山本 武史
" 阿部 信介
" 内田 雅洋
" 萩原 秀樹
" 魚津 宗
" 佐々木 裕
" 三浦 貴幸
" 鈴木 隆
" 落合 洋則
" 浦川 博臣
" 千代 啓三
" 石山 民一

" 高橋源太郎
" 斉藤 道真
" 才神 貴幸
" 樋口 哲哉
" 今井 寛樹
" 吉村 直人
" 鶴谷 建太
" 橋本 浩市
" 西村 直樹

5.1 機械化施工小委員会(34)

委員長 小山 幸則
委員 杉本 光隆
" 中川 光弘
" 五十嵐敏文
" 藤井 義明
" 勝見 武
" 岸田 潔
" 岩波 基
" 太田 岳洋
" 上原 元樹
" 津野 究
" 小西 真治
" 島村 昭志
" 野々村政一
" 野口 守
オブザーバー 菊本 統
" 上澤 真平
協力者 深沢 成年
" 蓼沼 慶正
" 小野 顕司
" 岡田 良平
" 高氏 昇
" 村上 明
" 玉井 真一
" 佐原 圭介
" 磯谷 篤実
" 萩原 秀樹
" 魚津 宗
" 三浦 貴幸
" 千代 啓三
" 斉藤 道真
" 吉村 直人
" 西村 直樹

6. 効率の点検特別委員会(24)

委員長 西村 和夫
副委員長 砂金 伸治
委員◎ 松岡 茂
" 石田 哲也
" 森本 智
" 藤田 一宏
" 大津 敏郎
" 八木 弘
" 小林 康範
" ○ 秋好 賢治
" ○ 手塚 康成
" ○ (小仲井一朗)
" ○ 須藤 敏明
" ○ (楠本 太)
" ○ 上岡 真也
" ○ 西脇 敬一
" ○ 平間 昭信
" ○ 大谷 達彦
" ○ 鈴木 雅行
" ○ 望月 誠一
" ○ 重田 佳幸
" ○ 岡部 正
" ○ (高橋 幸一)
" ○ (藁宮 芳和)
" ○ (室賀陽一郎)
協力者 (伊藤 哲男)
" 中野 清人
" 海瀬 忍
" 上谷 明生
" (前田 佳克)
" 村田 雄輝

7. 盤ぶくれ対策特別委員会
(31)

委員長 西村 和夫
委員 蔣 宇静
" 砂金 伸治
" 日下 敦
" 嶋本 敬介
" 藤田 一宏
" ◎ 太田 裕之
" 大津 敏郎
" 前川 秀人
" 八木 弘

// (岩尾 哲也)
 // 伊藤 哲男
 // ○ 河邊 信之
 // ○ (山本 拓治)
 // ○ 宮嶋 保幸
 // ○ 青木 宏一
 // ○ 安藤 拓
 // ○ (友野 雄士)
 // ○ 小原 伸高
 // ○ 渡辺 淳
 // ○ (植村 義幸)
 // ○ 川島 義和
 // ○ 盛重 知也
 // ○ 川端 康夫
 // ○ 小出 孝明
 協力者 遠藤 皓介
 // 山崎 敏史
 // 永田 政司
 // 福島 淳
 // 村上 貴行
 // 桐野 義忠
 // (伊藤 哲男)
 // 中野 清人
 // 海瀬 忍
 // 前川 和彦
 // 村田 雄輝

8. 覆工再生工法検討委員会 (35)

委員長 木村 定雄
 委員◎ 八木 弘
 // 杉本 光隆
 // 榊原 和成
 // 伊藤 公一
 // ○ 岩井 清彦
 // ○ 佐藤 元彦
 // ○ 海瀬 忍
 // ○ 重田 佳幸
 // ○ 岡本 直樹
 // ○ 河邊 信之
 // ○ 秋好 賢治
 // ○ 山本 拓治
 // ○ 青木 宏一
 // ○ 安藤 拓
 // ○ 友野 雄士

// ○ 植村 義幸
 // ○ 盛重 知也
 // ○ 楠 淳
 // ○ 山田 和晃
 // ○ 伊藤 将司
 // ○ 鈴木 俊雄
 // 宮澤 正隆
 // 伊藤 正人
 // 大橋由紀雄
 // 関島 元司
 幹事○ 中村 純
 // ○ 権藤 正典
 オブザーバー 山崎 哲也
 // 前川 和彦
 // 河合 隆則
 協力者 森山 守
 // 松本 滋
 // 卷田 将聡
 // 横地 淳

9. 既設構造物と新設構造物との接合等に関する設計・施工法検討委員会(13)

委員長 二羽淳一郎
 委員◎ 岩波 基
 委員 渡辺 忠朋
 // 野焼 計史
 // 大石 敬司
 // 荻野 竹敏
 // 河畑 充弘
 // 伊藤 聡
 事務局○ 大塚 努
 // ○ 新井 泰
 // ○ 岡ノ谷圭亮
 // ○ 水上 博之
 // ○ 田中 篤史

10. 東西線木場駅改良土木工事に関する技術検討委員会 (31)

委員長 小泉 淳
 副委員長 小山 幸則
 委員 野焼 計史
 // 大石 敬司
 // 荻野 竹敏

// 岡田 龍二
 // 嶋田 司
 // 大塚 努
 // 森谷 剛
 // 河畑 充弘
 // 小西 真治
 // 西村 高明
 幹事 増田 昌弘
 // 吉迫 和生
 // 奥村 一正
 // 森 暢典
 事務局○ 新井 泰
 // ○ 岡ノ谷圭亮
 // ○ 大崎 友輝
 // ○ 村上 哲哉
 // ○ 沢里 光生
 // ○ 加藤 優斗
 // ○ 伊藤 弘之
 // ○ 小林 克哉
 // ○ 前川 浩幸
 // ○ 水上 博之
 // ○ 田中 篤史
 オブザーバー 牛垣 勝
 // 近藤 資
 // 松林 周磨
 // 大隈 充浩
 // 星野 恭平

11. 西武鉄道新宿線(中井駅～野方駅間)連続立体交差事業技術検討委員会(5)

委員長 小山 幸則
 委員 大石 敬司
 // 奥山 宏二
 // 陰山 健司
 // 真弓 昭弘

常設委員会及び特別委員会

構成延べ人員 537名
 実人員 350名
 (注;前任者を除く)

3. 会議等の概要

(1) 令和元年度定時総会

日 時： 令和元年6月12日（水）16：00～16：40

場 所：弘済会館 4階 萩

出席者：出席社員 総員 1,254 名中 出席 154 名 委任状 688 名 計 842 名

出席役員 理事：谷口博昭、小島滋、時政宏、遠藤元一、廣瀬輝、高田悦久

飯田廣臣、高嶋正彦、森藤眞治、森山越郎、山崎政俊 以上 11 名

監事：佐藤俊哉、宮本雅文、久保田政宏 以上 3 名

(総会の成立)

時政専務理事が上記出席者を報告し、総会が成立した旨を告げた。

(議長選出)

定款第15条の規定により、総会の議長を谷口会長にお願いし、谷口会長から挨拶があった。

(議事録署名者)

議長から、定款第 19 条第 2 項の規定により、総会議事録の署名人として、議長の他、出席会員の金崎智樹氏、高嶋正彦氏にお願いしたい旨諮ったところ全員異議がなく、了承、選出された。

(議 事)

谷口議長は、議案の議事に入る旨、宣した後、

(1)第 1 号議案 (報告事項)令和元年度事業報告について

(2)第 2 号議案 (審議事項)令和元年度事業収支決算について

上記 2 件を一括して上程することとし、事務局の説明を求めた。

先の理事会で承認された令和元年度事業報告について、会員現況、協会組織の概要、会議等の概要、各種委員会の活動状況(運営・広報事業、国際関係事業、催物事業、調査研究事業)の報告があった。

引き続き、定款第 39 条の規定に基づく定時総会の承認事項として、令和元年度事業の収支決算について、9 種類の財務諸表等のうち、正味財産増減計算書を用いて説明があった。総括として、経常収益が 297,787 千円、経常費用が 284,805 千円となり、また経常外費用として前期損益修正損が 7,166 千円あることから、当期一般正味財産増減額は 5,816 千円の増額で、一般正味財産残高は期首 128,798 千円から期末 134,614 千円に増額となった旨の説明があった。

引き続き、佐藤監事より監査結果の報告があった。

谷口議長が、第 1 号議案について質問を求めたところ発言がなく、了承された。

次に、谷口議長が第2号議案について質問を求めたところ発言がなく、採決した結果、異議がなく、原案どおり承認された。

次に谷口議長から

(3)第3号議案(報告事項)令和元年度事業計画について

(4)第4号議案(報告事項)令和元年度事業収支予算について

上記2件について一括して上程することとし、事務局の説明を求めた。

先の理事会で承認された令和元年度事業計画について、運営・広報事業、国際関係事業、催物事業、調査研究事業のそれぞれの概要についての報告があった。

次に、先の理事会で承認された令和元年度事業収支予算について、損益ベースの会計予算書により説明があった。経常収益は前年度予算から33,920千円減額の235,116千円、経常費用は前年度予算から33,807千円減額の235,116千円とした、前年度と同様に収支均衡を計った予算としている旨の説明があった。なお、減額の要因は海外技術調査及び受託業務に係る減額であるとの補足があった。

谷口議長が第3号及び第4号議案について質問を求めたところ、発言がなく、了承された。

(5)第5号議案(審議事項)理事及び監事の選任について

谷口議長の指示により、事務局から以下の説明があった。

定款第12条第2号、第21条第1項の規定により、理事及び監事の選任を諮るものである。本総会終了を以って任期満了となる理事の谷口博昭氏、小島滋氏、宮本洋一氏、遠藤元一氏、岡本博氏、飯田廣臣氏、森藤眞治氏、梅田一成氏、山崎政俊の9名、監事の宮本雅文氏、及び辞任の申し出があった理事の廣瀬輝氏、大西精治氏、野崎誠貴氏、佐藤健人氏、生木泰秀氏、足立宏美の6名、監事の佐藤俊哉氏に対し、先の理事会で推薦された理事16名及び監事2名の候補者の紹介があった。

谷口議長が第5号議案について質問を求めたところ発言がなく、推薦された候補者を一名ずつ諮った結果、それぞれ異議がなく、下記のとおり選任が承認された。

再任の理事:谷口博昭氏、小島滋氏、宮本洋一氏

新任の理事:藤井元生氏、村尾光弘氏、土橋浩氏、高瀬昭雄氏、大石敬司氏

谷本俊哉氏、河田孝志氏、見喜一朗氏、山田裕之氏、山本喜裕氏

吉川大三氏、中西隆夫氏、森理太郎氏

新任の監事:遠藤元一氏、菊地眞氏

(その他)

事務局から令和元年度の事業を推進するにあたり、先の理事会で承認された常設委員会の委

員長の紹介があった。

総務委員長は理事の高瀬昭雄氏(新任)、国際委員長が評議員の中村武夫氏(留任)、事業委員長が評議員の入江健二氏(留任)、技術委員長が評議員の西村和夫氏(留任)である。

また、谷口会長から、令和元年度施工体験発表会における山岳トンネル部門、都市トンネル部門の最優秀発表者それぞれ1名を表彰した。

(閉 会)

以上をもって本日の議事が終了したので、谷口議長は閉会を宣した。

(2) 理 事 会

令和元年度第1回 理事会 (令和元年5月22日(水)) 理事8名、監事2名 計10名

- ① 令和元年度の理事、監事、評議員について
- ② 特別会員の推薦について
- ③ 常設委員会委員長の選出について
- ④ 令和元年度定時総会議案(案)
- ⑤ JTAビジョンの策定について

令和元年度第2回 理事会 (令和元年6月12日(水)) 理事11名、監事3名 計14名

- ① 令和元年度定時総会議案進行

令和元年度第3回 理事会 (令和元年6月12日(水)) 理事16名、監事3名 計19名

- ① 役員(会長、副会長)の選定について

会長：谷口 博昭

副会長：小島 滋、宮本 洋一

令和元年度第4回 理事会 (令和元年11月14日(木)) 理事16名、監事1名 計17名

- ① 評議員の交替
評議員辞任：大西 精治 評議員選任：今井 政人
- ② 令和2年度定時総会開催日の選定
- ③ JTAビジョンの決定、及びJTAビジョンの実施事項等について

令和元年度第5回 理事会 (令和2年3月16日(月)) 理事15名、監事2名計17名

- ① 令和2年度定時総会の開催日程(再)

- ② 会費の改定、JTA ビジョン関連諸制度の創設
- ③ 令和 2 年度理事、監事、評議員の構成
- ④ 令和 2 年度定時総会議案要綱
- ⑤ 評議員の交替

評議員辞任：木村 昌司 評議員選任：伊勢田 敏

(3) 顧問・評議員会

令和元年度第 1 回顧問・評議員会（令和元年 5 月 22 日（水））顧問 1 名、評議員 19 名、その他 5 名 計 25 名

- ① 令和元年度定時総会議案（案）

令和元年度第 2 回顧問・評議員会（令和元年 11 月 14 日（木））顧問 1 名、評議員 17 名、その他 2 名 計 19 名

- ① 令和元年度事業活動及び上半期収支現況
- ② JTA ビジョンの実施事項等について

(4) 各種委員会（令和元年度開催状況）

委員会名	構成 人員 (人)	開催 回数 (回)	出席 人数 (人)	委員会名	構成 人員 (人)	開催 回数 (回)	出席 人数 (人)
1 総務委員会	37	21	238	5 北海道新幹線、新函館・札幌間 トンネル施工特別委員会	85	3	137
委員会	15	4	41	委員会	51	1	49
企画運営幹事会	9	4	29	機械化施工小委員会	34	2	88
広報小委員会	—	0	0	6 効率的点検特別委員会	24	7	116
会誌WG	13	13	168	7 盤ぶくれ対策特別委員会	31	8	190
ホームページWG	—	0	0	8 覆工再生工法検討委員会	35	7	158
2 国際委員会	88	22	195	9 既設新設接合特別検討委員会	13	1	22
委員会	7	1	8	10 東西線木場駅改良特別委員会	31	1	36
I T A小委員会	25	2	39	11 西武鉄道新宿線連続立体 交差事業技術検討委員会	5	0	0
英文H P改訂WG	7	2	12				
海外情報小委員会	6	0	0				
文献WG	22	0	0				
ニュースWG	9	11	83				
対外広報WG	12	6	53				
3 事業委員会	19	5	75				
4 技術委員会	169	29	394				
委員会	17	1	17				
共通技術小委員会	15	0	0				
資機材検索性運営WG	6	2	13				
山岳工法小委員会	21	1	19				
支保WG	26	5	107				
地山評価WG	17	7	79				
防・排水工WG	13	5	58				
都市トンネル小委員会	19	2	23				
安全環境小委員会	19	3	40				
保守管理小委員会	16	3	38				
				合 計	537	104	1,561

(注1) 開催回数にはメール審議による開催も含む。

(注2) 出席人数にはオブザーバーと事務局を含む。

(委員会数と構成員延べ人数)

区分	委員会	小委員 会	幹事会 WG	計	延べ 人数
常設	4	8	11	23	313
特別	7	1	0	8	224
計	11	9	11	31	537

4. 運営・広報事業の概要

総務委員会委員長 高瀬 昭雄

本会の事業の運営方針や広報活動について全体調整を行うとともに、企画運営幹事会及び広報小委員会において、具体的な方策を検討した。また、国内外からの技術協力や協賛・後援依頼について検討した。

- ①JTAビジョンをはじめ、本会の事業の運営方針について検討した。
- ②令和2年度事業計画案及び予算案を検討した。

(1) 企画運営幹事会

幹事長 水口 和之

- ③本会の今後を見据えた活動のため、JTAビジョン原案を策定するとともに、その内容を実効あるものにするための具体策について検討した。

(2) 広報小委員会

委員長 平野 隆

- ④ホームページ及び会誌「トンネルと地下」等により、広報活動の充実に努めた。
- ⑤各種委員会の研究成果である貴重な技術情報の活用を図るため、頒布図書資料(17頁参照)の広報活動に努めた。

5. 国際関係事業の概要

国際委員会委員長 中村 武夫

ITA活動等への参加などを通じて、トンネル技術に関する各国の情報収集、わが国からの情報発信及び国際協力に努めた。

- ①ITAを通じてわが国のトンネル技術情報を積極的に発信するとともに、各種作業部会(WG)に参加するなどITAの場の活用に努めた。
- ②WTC2020(マレーシア・クアラルンプール)での共同技術展示について検討を実施した。

(1) ITA小委員会

委員長 砂金 伸治

- ③わが国のトンネル技術の情報発信のため、前年度に引き続き、WTC2019(開催地:イタリア・ナポリ)で会員企業と共同で技術展示を行った。
- ④イタリア・ナポリで開催された ITA 総会および WTC(世界トンネル会議)への出席と対応方針について調整するとともに、会議結果報告を会誌 2019 年 10 月号に掲載した。
- ⑤マレーシア・クアラルンプールで開催されるITA総会およびWTC2020への対応方針について調整した。

(2) 海外情報小委員会

委員長 福井 勝則

- ⑥トンネル技術に関する海外の雑誌の記事を抽出、翻訳して会誌に掲載した。
- ⑦わが国の技術を積極的に世界に広報するため、来年度当初の刊行に向けて「Tunnelling Activities in Japan 2020」を編集した。

頒布図書一覧表

令和元年度は、これまでの研究成果を主とした下記図書資料 180部 を頒布した。

刊行年度	図書番号	図 書 名	頒布部数	残部数
1985	6008	トンネル工事の安全－NATM編－	1	55
1990	90001	大深度地下利用技術(邦文)	1	8
	90002	大深度地下利用技術(英文)	1	7
1992	92006	トンネル工事の安全－斜坑・立坑編－	1	33
1998	98003	トンネル工事の安全－山岳トンネル機械掘削編－	1	9
1999	99001	トンネル工事の安全－山岳発破作業編－	2	10
2000	200010	大深度地下利用技術調査小委員会報告書－テキスト－	0	26
	200011	大深度地下利用技術調査小委員会報告書－モデル検討－	3	52
2001	200104	電力用立坑の性能照査型設計手引	0	16
2002	200105	覆工コンクリート施工の手引き	3	73
	200207	Sus9 国際会議	0	20
2003	200303	性能照査型ガイドライン講習会	0	31
2005	200508	トンネル技術白書－山岳トンネル施工技術の現況と変遷－	0	98
2010	201003	第66回施工体験発表会(山岳)	1	21
	201004	第67回施工体験発表会(都市)	0	22
2014	201401	トンネル年報 2014	2	47
2015	201501	トンネル年報 2015	4	46
	201504	都市部近接施工ガイドライン	73	150
2016	201601	トンネル年報 2016	2	49
2017	201701	トンネル年報 2017	4	30
2018	201801	トンネル年報 2018	19	30
	201805	山岳トンネル工事に係るセーフティ・アセスメントに関する指針・同解説	19	233
	201806	シールド工事に係るセーフティ・アセスメントに関する指針・同解説	23	303
2019	201901	トンネル年報 2019	20	120
合 計 24件			180	1,489

6. 催物事業の概要

事業委員会委員長 入江 健二

協会の事業活動に対して、会員をはじめ広く一般の理解と関心を高め、その参加・協力を得るとともに、当面する技術課題を踏まえた各種催物を企画し、トンネル関係者の実務上有益な知識の向上に努めた。

(1) 現場研修会

国内の鉄道、道路、電力、地下鉄、下水道等各種トンネル工事現場での研修会(見学会)を開催した。

(2) 施工体験発表会

第 84 回施工体験発表会は、山岳トンネルについて、「課題克服に取り組んだトンネル工事－新技術、創意工夫、周辺環境への配慮－」を、また第 85 回施工体験発表会は、都市トンネルについて、「都市における各種制約下でのトンネル、地下構造物工事－新設、改良・再構築の施工事例－」を、それぞれ課題として実施した。なお、優秀発表者に対しては表彰することとした(20頁を参照)。

(3) トンネル技術ステップアップ研修会

トンネル実務経験5～10年程度の中堅技術者を対象としたトンネル技術ステップアップ研修会を、山岳部門、シールド部門についてそれぞれ開催した。

第18回トンネル技術ステップアップ研修会「山岳部門」:R1.10.1～2

第21回トンネル技術ステップアップ研修会「シールド部門」:R1.10.16～17

(4) 講習会・講演会等

「山岳トンネル維持管理業務講習会(基礎編)R1.12.6」、および「山岳トンネル維持管理業務講習会(実践編)R2.1.31」を開催した。

(5) 海外技術調査

海外のトンネル施工技術、施工状況を把握するため、オーストリア(ブレンナーベーストンネル建設現場等)、フランス(パリ地下鉄 16 号線工事現場等)を対象とした海外技術調査を企画したが、新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、次年度に延期することとした。

令和元年度各種催物開催実績

催物名	開催日	参加者数	開催場所	CPD 取得単位
【現場研修会】 10回				
千代田幹線下水工事現場研修会	2019.5.27	15	東京	2.0
新東名高速道路トンネル建設工事現場研修会 —谷ヶ山および萱沼トンネル工事—	2019.7.5	20	神奈川	2.8
東京国際空港際内トンネル工事現場研修会	2019.7.24	30	東京	2.0
福井県内道路トンネル工事現場研修会 —荒島第1・第2トンネル、冠山峠道路第2号トンネル—	2019.7.29～30	24	福井	5.0
北海道トンネル建設工事現場研修会 —北海道新幹線渡島トンネル、北海道縦貫自動車道大沼トンネル避難坑—	2019.8.29～30	19	北海道	6.0
相鉄・東急直通線工事現場研修会 —新綱島駅、新横浜トンネル—	2019.9.19	23	神奈川	2.4
福島県内道路トンネル建設工事現場研修会 —国道118号鳳坂トンネル工事、田代トンネル工事—	2019.10.9	16	福島	3.4
広島高速5号線トンネル建設工事現場研修会	2019.11.21	25	広島	3.0
駒形幹線下水工事現場研修会	2020.2.5	24	東京	2.0
東京外かく環状道路トンネル建設工事現場研修会 —本線トンネル大泉南工事—	2020.2.21	28	東京	2.5
【施工体験発表会】 2回				
第84回(山岳)「課題克服に取り組んだトンネル工事— 新技術、創意工夫、周辺環境への配慮—」	2019.6.25	169	東京	6.0
第85回(都市)「都市における各種制約下でのトンネル、 地下構造物工事—新設、改良・再構築の施工事例—」	2019.6.26	120	東京	5.2
【講習会・シンポジウム】 4回				
第18回トンネル技術ステップアップ研修会「山岳部門」	2019.10.1～2	27	東京	13.2
第21回トンネルステップアップ研修会「シールド部門」	2019.10.16 ～17	30	東京	15.5
山岳トンネル維持管理業務講習会(基礎編)	2019.12.6	35	東京	6.2
山岳トンネル維持管理業務講習会(実践編)	2019.1.31	43	東京	5.9

第13回優秀発表者(施工体験発表会審査結果)

第84回(山岳)ならびに第85回(都市)施工体験発表会に係る発表者の表彰について審査した結果、それぞれ下記のとおりとなった(詳細は会誌2019年12月号に掲載)。

第84回(山岳)施工体験発表会 「課題克服に取り組んだトンネル工事」

開催日:令和元年6月25日(火) 発表者:14名

<最優秀賞>

受賞者 古家 義信 (株)大林組 四国支店松柏トンネルJV工事事務所工事長
発表論文 大変位を伴う泥質片岩・蛇紋岩での山岳トンネルの施工
—国道197号松柏トンネル建設工事—

<優秀賞>

受賞者 亀田 剛志 前田建設工業(株) 九州支店平底トンネル作業所工事課長
発表論文 鋼製支保工切羽無人化建込み技術の開発
—宮崎218号平底トンネル新設工事—

<優秀賞>

受賞者 佐々木 和人 飛島建設(株) 北陸支店新大島トンネルJV犬見工区監理技術者
発表論文 300mを超える高土かぶり下における蛇紋岩地山の変位抑制対策
—原子力災害制圧道路整備工事(交付金)(仮称)新大島トンネル犬見工区—

<佳作>

受賞者 新宮 信也 (株)熊谷組 岩松トンネル作業所副所長
発表論文 小土かぶり市道直下における近接施工について
—九州新幹線西九州ルート 第3岩松トンネル—

<佳作>

受賞者 堅田 篤史 戸田建設(株) 九州支店諫早トンネル監理技術者
発表論文 幹線国道を土かぶり3.5mで交差する山岳トンネルの施工実績
—九州新幹線(西九州)、諫早トンネル他工事—

第85回(都市)施工体験発表会 「都市における各種制約下でのトンネル、地下構造物工事」

開催日:令和元年6月26日(水) 発表者:12名

<最優秀賞>

受賞者 西岡 恭輔 (株)大林組 東京本店八王子館シールドJV工事事務所工事長
発表論文 住宅地での小土かぶり・併設施工における大断面シールドの地上発進・地上到達事例
—八王子南バイパス館第一トンネル工事—

<優秀賞>

受賞者 西川 圭 大豊建設(株) 名古屋支店桶狭間道路改良作業所長
発表論文 小土かぶりの非開削工法施工時における周辺地盤挙動抑制対策
—市道桶狭間勅使線愛知用水横断暗渠—

<優秀賞>

受賞者 吉田 裕介 東京地下鉄(株) 改良建設部第三工事事務所副主任
発表論文 軟弱地盤下に潜函工法で築造された地下鉄トンネルの拡幅における下床版築造工事
—東京メトロ東西線南砂町駅改良土木工事—

7. 調査研究事業の概要

調査研究事業では、自主研究と受託(請負等)研究を実施した。自主研究では、技術委員会のもと、トンネルや地下空間の建設及び維持管理に関する当面の課題や会員のニーズに応えることに力点を置き活動した。また、受託(請負等)研究では、5機関から7件の技術調査検討業務を受託(請負等)し、学識経験者からなる特別委員会等を設置・検討して成果を取りまとめ、委託者(発注者)の要望に応えた(受託業務一覧表:24頁参照)。

委員会毎の主な活動の内容は、以下のとおりである。

1) 技術委員会

委員長 西村 和夫

今日的な課題や会員のニーズを把握するための情報収集に努め、得られた結果からテーマを選定し調査研究を実施した。各小委員会の活動現況は、以下のとおりである。

(1) 共通技術小委員会

委員長 市場 一好

①ホームページ上の資材機械検索リストに関して、アクセス数の減少等に鑑み、その内容や表示の仕方について検討を行った。

(2) 山岳工法小委員会

委員長 佐原 圭介

②前年度に引き続き、「未固結ないし低固結の地山における小土被りでの山岳工法によるトンネル設計施工技術(坑口部付近を含む)」について情報交換を実施し、これまでの情報を整理した。

③吹付けコンクリート急結剤の含有成分である二酸化アルミニウムナトリウムの劇物指定(2018/3/29)を受け、各種情報交換を行うとともに、新しい急結材の使用実態調査を実施し、取りまとめた。

④先受工で用いられているウレタン、シリカレジンに含まれる成分MDI(ビス(4-イソシアナトフェニル)メタン)が「毒物」と判定された(2018/12/25)ことを受け、経緯や今後の対応等について情報交換を行った。

⑤切羽観察の実務的なポイントについて、情報交換を行うとともに、「切羽観察担当者のための基礎知識Q&A(仮題)」として取りまとめを行った。

⑥山岳トンネルのより良い防・排水工のあり方について、現状や実態等について情報交換を行うとともに、トンネル防水工に関する課題(不具合事例)と新たな提案についてアンケート調査を実施した。

(3) 都市トンネル小委員会 **委員長 川上 直之**

⑦「シールド工事における新技術」を取り上げて調査検討を実施することとし、その準備を行った。

(4) 安全環境小委員会 **委員長 中野 清人**

⑧近年話題となっている安全対策として「肌落ち」を、環境保全として「重金属」を取り上げて調査研究を実施することとし、その準備を行った。

(5) 保守管理小委員会 **委員長 今井 政人**

⑨前年度に引続き「山岳トンネル維持管理業務講習会（基礎編）」及び「山岳トンネル維持管理業務講習会（実践編）」について、前年度のアンケート結果等を踏まえながら企画した。

⑩前年度に引続き、トンネル維持管理に携わる技術者育成に寄与することを目的として作成した「トンネル維持管理に関するQ&A集」を、会誌に「トンネル保守管理におけるQ&A」として、2019年10月号まで10回にわたって連載するとともに、その内容に会誌紙面の限りで掲載できなかった資料を新たに追加して書籍化することとした。

2) 受託研究特別委員会（特別委員会）

5機関から7件の技術課題を受託（請負等）し、学識経験者からなる特別委員会等を設置し、委託者（発注者）の要望に応えるよう検討・実施した。

(1) 北海道新幹線、新函館北斗・札幌間トンネル施工技術委員会 **委員長 三上 隆**

前年度に引き続き(独)鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局からの「北海道新幹線、トンネル設計施工の研究8、9」業務を受け実施した。

(2) 効率的点検特別委員会 **委員長 西村 和夫**

前年度に引き続き(株)高速道路総合技術研究所からの「覆工コンクリートの効率的な点検に関する基礎資料作成」業務（平成30年度業務、令和元年度業務）を受け実施した。

(3) 盤ぶくれ対策検討特別委員会 **委員長 西村 和夫**

(株)高速道路総合技術研究所からの「盤膨れ工法に関する技術資料作成」業務（平成30年度業務、令和元年度業務）を受け実施した。

(4)覆工再生工法検討委員会

委員長 木村 定雄

中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋(株)から「金沢支社管内TN特定更新等調査検討業務（委員会）（2018年度）」業務を受け実施した。

(5)既設構造物と新設構造部との接合等に関する設計・施工法検討委員会

委員長 二羽 淳一郎

東京地下鉄(株)から「既設構造物と新設構造物との接合等に関する設計・施工法検討委員会に伴う調査・検討（令和元年度）」業務を受け実施した。

(6)東西線木場駅改良土木工事に関する技術検討委員会

委員長 小泉 淳

前年度に引き続き東京地下鉄(株)から「東西線木場駅改良土木工事に関する技術検討委員会に伴う調査・検討（2019年度）」業務を受け実施した。

(7)西武鉄道新宿線（中井駅～野方駅間）連続立体交差事業技術検討委員会

委員長 小山 幸則

西武鉄道(株)から「新宿線中井～野方駅間連続立体交差事業に伴うシールド工事技術検討委員会運営業務」を受け実施した。

令和元年度受託業務契約一覧

(単位：税込、円)

No	委託者	委託件名	金額	工期	担当委員会 (略称)	委員長	備考
1	(独)鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	北海道新幹線、トンネル設計施工の研究8	4,700,000	'16.4.11 ～'19.10.31	特別 北海道新幹線	三上 隆	複数年契約 ('19年度分)
2	(独)鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	北海道新幹線、トンネル設計施工の研究9	(契約済)	'19.12.4 ～'21.7.30	特別 北海道新幹線	三上 隆	複数年契約 ('19-'21年度分)
3	(株)高速道路総合技術 研究所	平成30年度 覆工コンクリートの効率的な点検に関する基礎資料作成	24,570,000	'18.10.27 ～'19.9.1	特別 効率的点検	西村 和夫	複数年契約
4	(株)高速道路総合技術 研究所	令和元年度覆工コンクリートの効率的な点検に関する基礎資料作成	(契約済)	'18.10.27 ～'19.9.1	特別 効率的点検	西村 和夫	複数年契約 (完成払)
5	(株)高速道路総合技術 研究所	平成30年度盤ぶくれ対策工法に関する技術資料作成	32,431,837	'18.4.25 ～'19.4.19	特別 盤ぶくれ	西村 和夫	複数年契約
6	(株)高速道路総合技術 研究所	令和元年度盤ぶくれ対策工法に関する技術資料作成	(契約済)	'19.6.25 ～'20.4.19	特別 盤ぶくれ	西村 和夫	複数年契約 (完成払)
7	中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋(株)	金沢支社管内TN特定更新等調査検討業務(委員会)(2018年度)	29,160,000	'19.1.25 ～'19.7.25	特別 覆工再生工法	木村 定雄	複数年契約
8	東京地下鉄(株)	既設構造物と新設構造物との接合等に関する設計・施工法検討委員会に伴う調査・検討(令和元年度)業務	2,750,000	'19.7.22 ～'19.12.31	特別 既設新設接合	二羽淳一郎	
9	東京地下鉄(株)	東西線木場駅改良土木工事に関する技術検討委員会に伴う調査・検討(2019年度)業務	29,040,000	'20.1.15 ～'20.3.20	特別 東西線木場駅	小泉 淳	
10	西武鉄道(株)	新宿線中井～野方駅間連続立体交差事業に伴うシールド工事技術検討委員会営業務	0	'18.7.12 ～'23.3.31	特別 西武新宿線	小山 幸則	複数年契約 ('19年度分)
【令和元年度会計合計】			122,651,837	(7の特別委員会)			
【令和2年度以降－継続契約分－】							
2	(独)鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	北海道新幹線、トンネル設計施工の研究9	51,480,000	'19.12.4 ～'21.7.30			継続 '19-'21年度
4	(株)高速道路総合技術 研究所	令和元年度覆工コンクリートの効率的な点検に関する基礎資料作成	20,680,000	'19.10.29 ～'20.8.23			継続 '19-'20年度
6	(株)高速道路総合技術 研究所	令和元年度盤ぶくれ対策工法に関する技術資料作成	38,445,000	'19.6.25 ～'20.4.19			継続 '19-'20年度
10	西武鉄道(株)	新宿線中井～野方駅間連続立体交差事業に伴うシールド工事技術検討委員会営業務	4,786,560	'18.7.12 ～'23.3.31			継続 '18-'22年度
合 計			115,391,560				

(注) 工期欄及び備考欄は、西暦表記している。